

# 平成25年度 決算の概要

## 決算規模(一般会計)

歳入は前年度比0.2%増の44,816,091千円、歳出は同0.6%減の43,850,890千円

歳入決算額 44,816,091千円

(前年度比 + 83,610千円 0.2%増)

歳出決算額 43,850,890千円

(前年度比 ▲266,944千円 0.6%減)

## 形式収支・実質収支(一般会計)

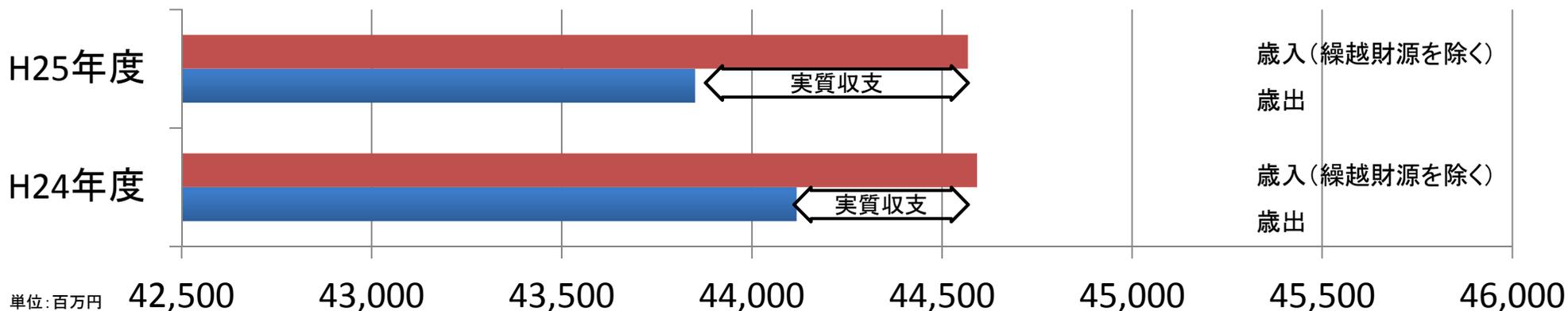
歳入から歳出を引いた形式収支は前年度比57.0%増の965,201千円、その形式収支から繰越事業のため翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は同51.1%増の716,836千円

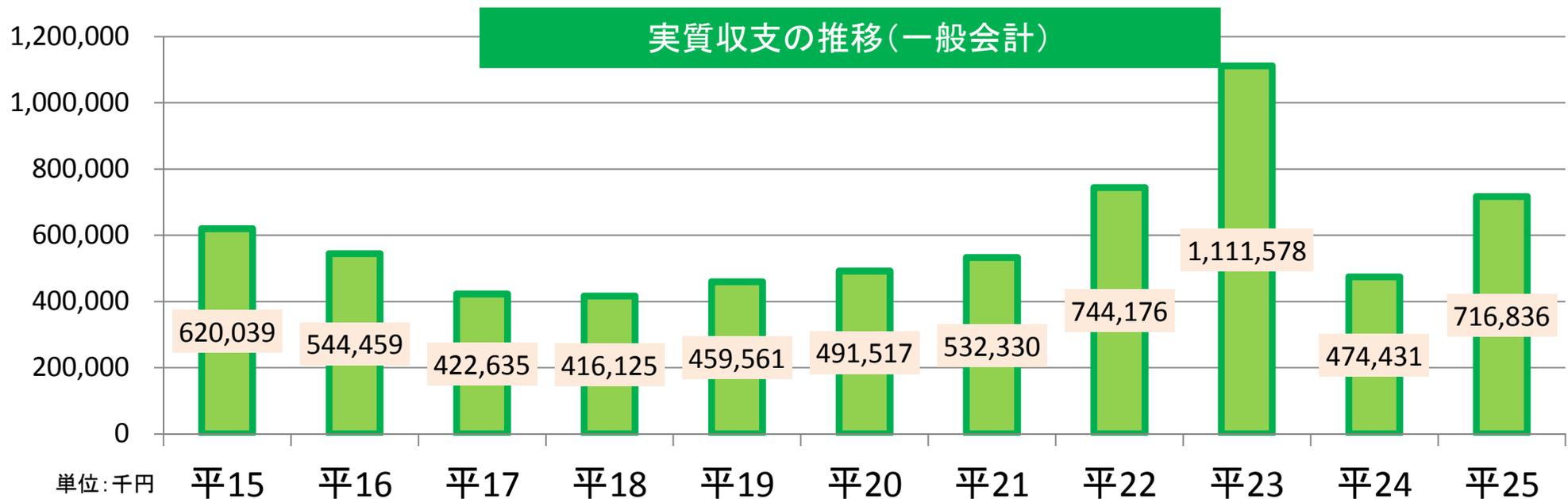
形式収支 965,201千円

(前年度比 + 350,554千円 57.0%増)

実質収支 716,836千円

(前年度比 + 242,405千円 51.1%増)





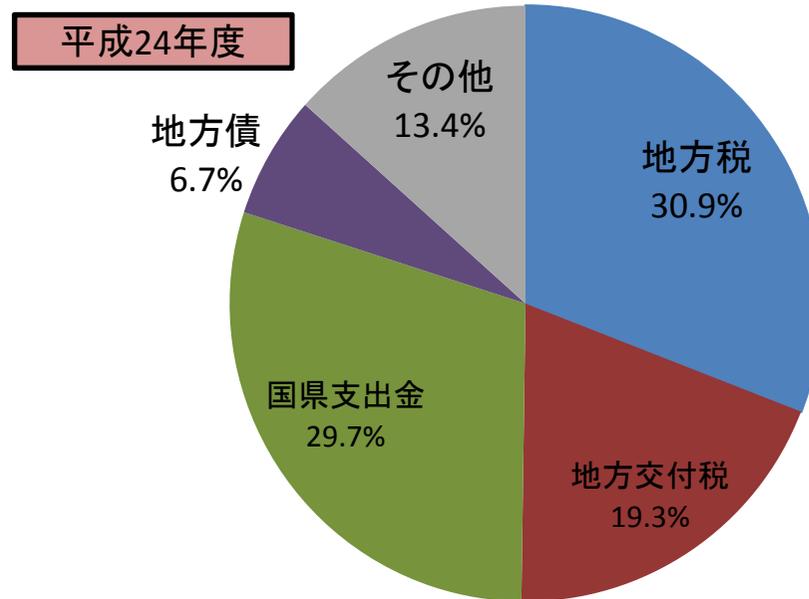
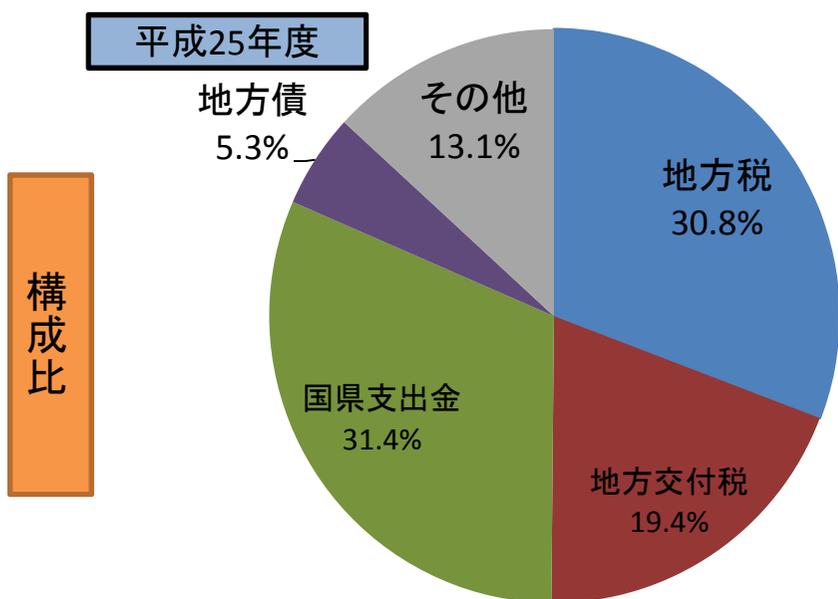
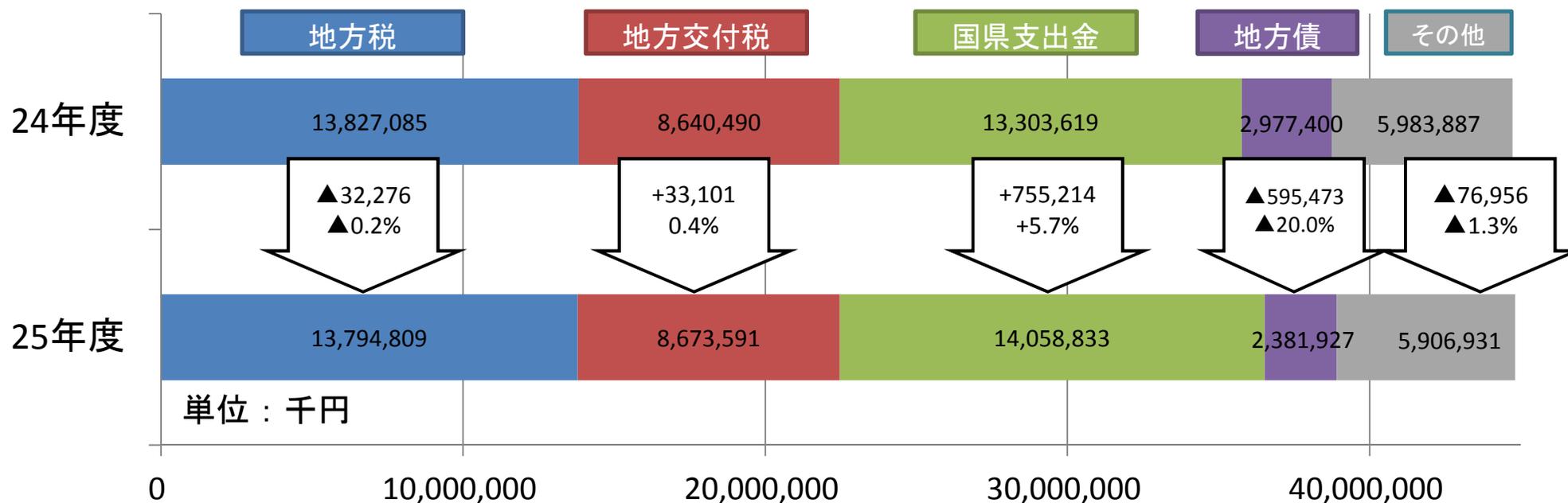
## 決算規模(特別会計)

特別会計の実質収支は前年度比384,048千円増(40.5%増)1,332,210千円

単位:千円

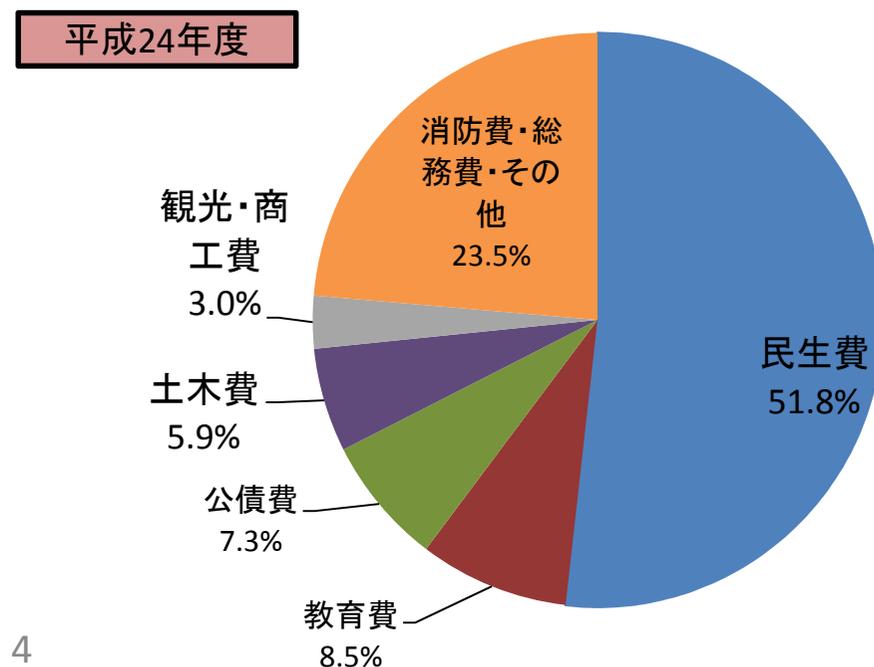
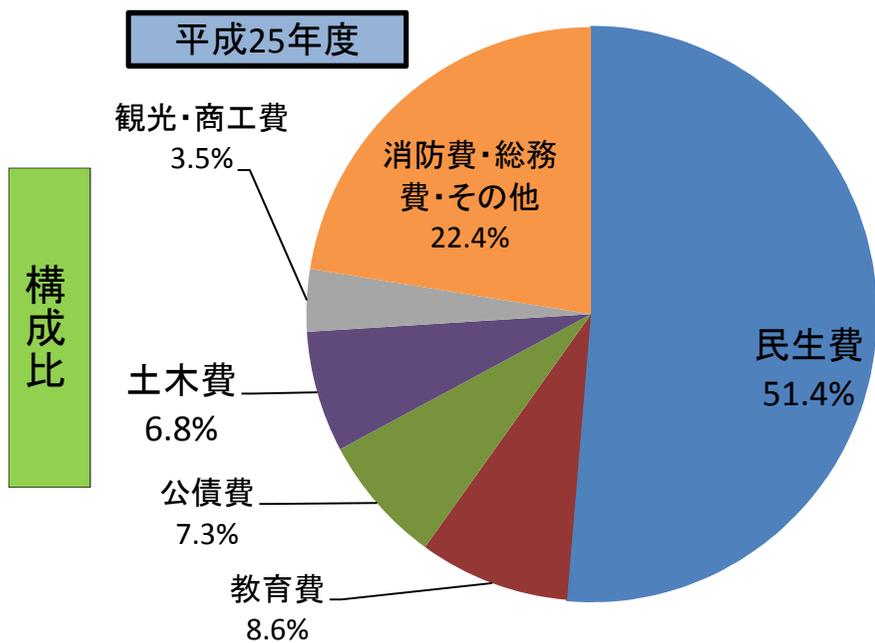
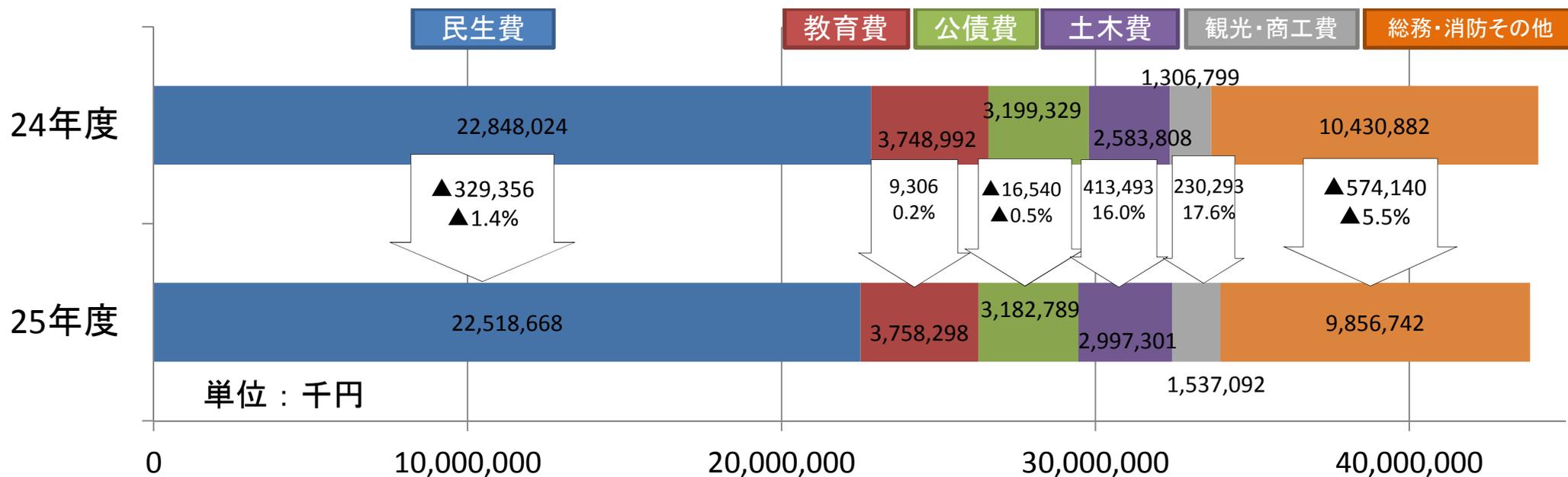
	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ 繰越すべき財源	実質収支	繰上充用額
国民健康保険事業	15,519,926	15,507,178	12,748	—	12,748	—
競輪事業	11,527,681	10,576,317	951,364	—	951,364	—
公共用地先行取得事業	0	0	0	—	0	—
公共下水道事業	2,738,341	2,502,813	235,528	3,556	231,972	—
地方卸売市場事業	40,525	40,525	0	—	0	—
介護保険事業	10,961,460	10,831,202	130,258	—	130,258	—
後期高齢者医療	1,506,505	1,500,637	5,868	—	5,868	—
<b>特別会計 合計</b>	<b>42,294,438</b>	<b>40,958,672</b>	<b>1,335,766</b>	<b>3,556</b>	<b>1,332,210</b>	<b>—</b>

# 歳入の状況(一般会計)



構成比

# 目的別歳出の状況(一般会計)



市民一人あたりの決算額(一般会計)

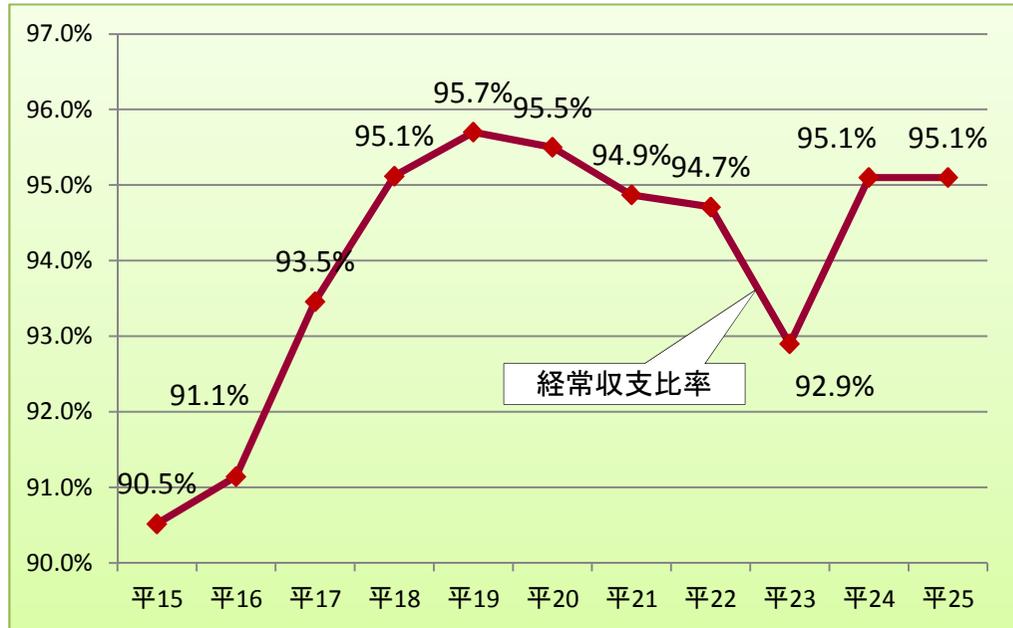
		平成25年度 (121,026人)		平成24年度 (121,998人)	
		決算額	市民一人あたり	決算額	市民一人あたり
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉	22,518,668千円	186,065円	22,848,024千円	187,282円
議会費・総務費	市議会・市役所の運営など	5,533,017千円	45,718円	5,802,316千円	47,561円
教育費	幼稚園・小・中・高等学校教育・社会教育・スポーツ振興など	3,758,298千円	31,054円	3,748,992千円	30,730円
公債費	市債(借金)の返済	3,182,789千円	26,298円	3,199,329千円	26,224円
土木費 災害復旧費	道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧など	3,028,050千円	25,020円	2,650,645千円	21,727円
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全など	2,718,877千円	22,465円	2,854,169千円	23,395円
商工費・観光費	商工・温泉・観光振興など	1,537,092千円	12,701円	1,306,799千円	10,712円
消防費	消防・防災対策など	1,208,124千円	9,982円	1,292,477千円	10,594円
労働費 農林水産業費	消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	365,975千円	3,024円	415,083千円	3,402円
合 計		43,850,890千円	362,326円	44,117,834千円	361,628円

# 普通会計決算の主な財政指標

経常収支比率 95.1%(H24 95.1%)

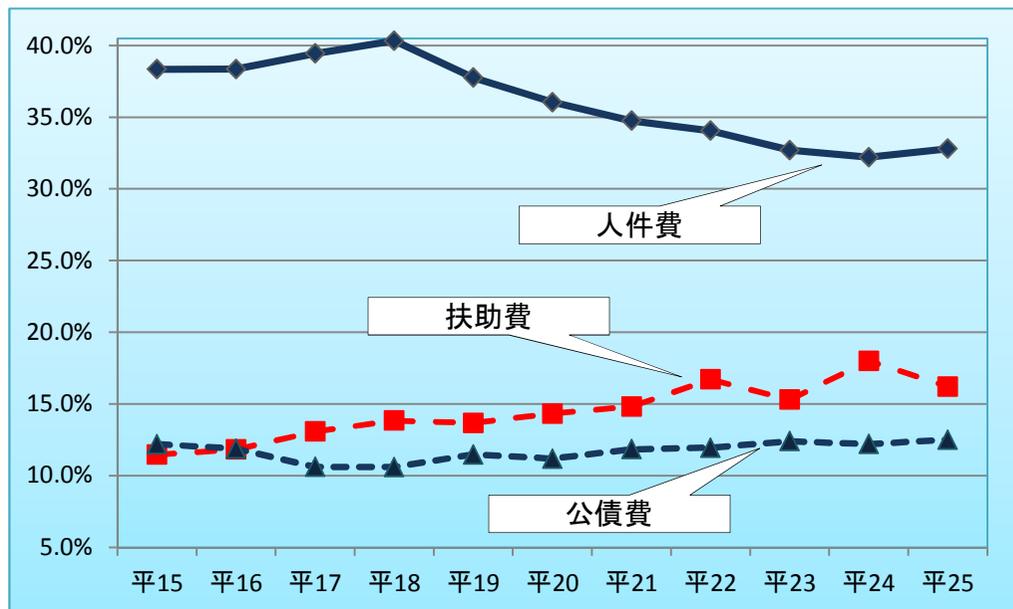
経常収支比率は、市税や普通地方交付税などの経常的な収入が、人件費や扶助費などの経常的な経費にどの程度充てられているかを示す指標です。

平成25年度は、扶助費の比率が低下しましたが、歳入において臨時財政対策債が減少したため、前年度と同率の95.1%となりました。



## 義務的経費の経常収支比率

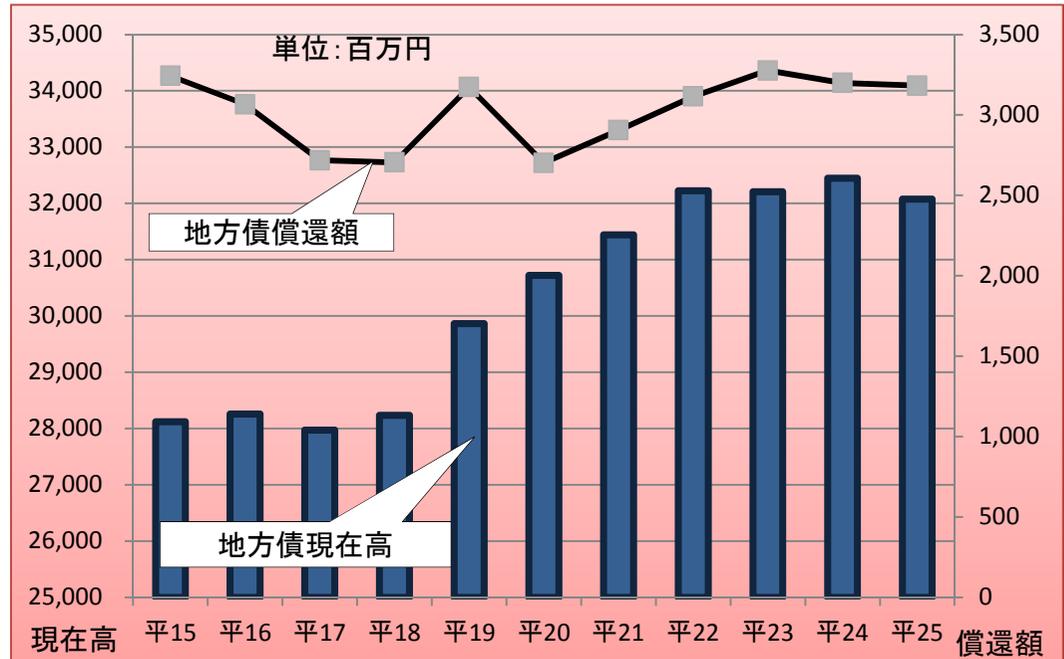
義務的経費である人件費の経常収支比率は32.8%、扶助費は16.2%、公債費は12.5%です。人件費の比率は、定員適正化計画や給与構造改革の実施により低下傾向にあります。扶助費の比率は、平成25年度は生活保護費の減少等により低下したものの上昇傾向にあり、また公債費の比率も、臨時財政対策債の償還が増加しているため上昇傾向にあります。



## 地方債の状況

地方債の償還（公債費）は、平成14年度をピークに減少傾向にありましたが、国の地方財政対策による臨時財政対策債の発行や、定年退職者がピークの時期に発行した退職手当債の影響により、平成21年度から増加しています。

臨時財政対策債は、償還額とともに残高も増加しており、平成25年度末には地方債残高全体（普通会計）の二分の一を超えました。

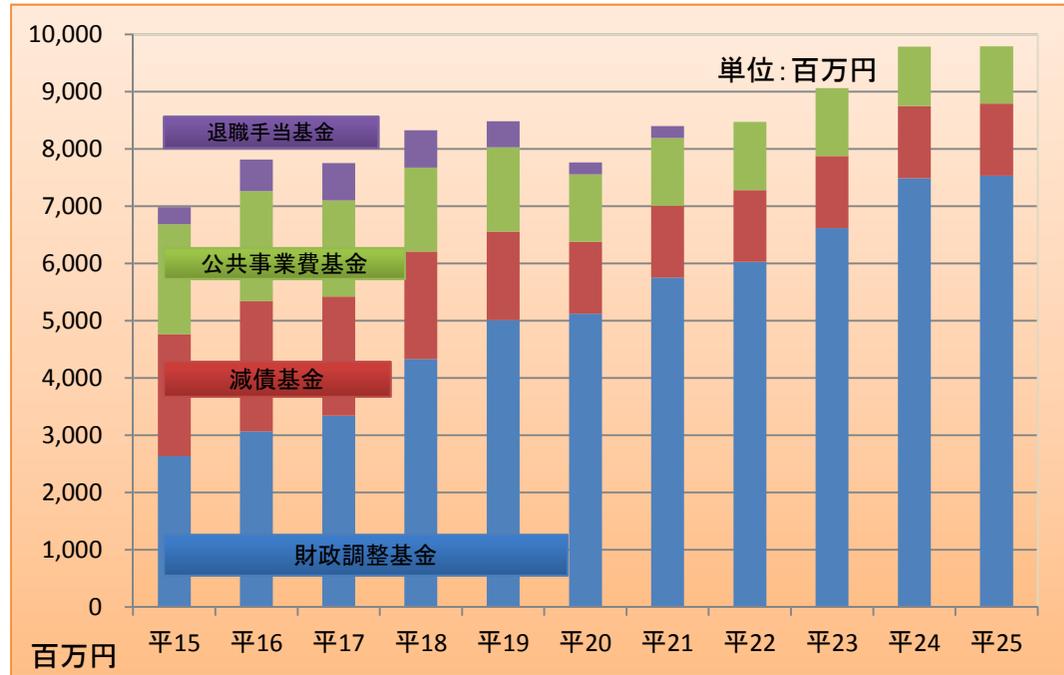


## 主要基金の状況

主要基金は災害等の突発的な支出や税収の落ち込み等に備え、年度間の財源の調整を図り、計画的な財政運営を行うため積み立てています。

平成25年度末の残高は平成24年度の決算剰余金などの積立てにより9,789,697千円となりました。

なお公共事業費基金は公共施設の計画的な改修の財源を確保するため設置した公共施設再編整備基金に、平成26年度末統合する予定です。



## 平成25年度に実施した主な事業

### 小中学校・幼稚園耐震化事業 決算額 581,073千円

児童・生徒の安全で安心な教育環境の確保を図るため平成19年度から公立学校の耐震化を進めています。

平成25年度は上人小学校（教室棟）、上人幼稚園の改築、大平山小学校（教室棟）、石垣小学校（管理教室棟）、春木川小学校（管理教室棟）、浜脇中学校（西教室棟）、山の手中学校（特別教室棟）の耐震補強工事を実施しました。また、翌年度以降に工事をする予定校の設計をしました。



### 庁舎長寿命化事業 決算額131,260千円

本庁舎の安全性を確保し、機能維持を図るため、行政棟の外壁改修や市民サロンの空調設備の改修などを行いました。



## 平成25年度に実施した主な事業

### 誘客プロモーション事業 決算額 117,065 千円

国内外からの幅広い層、多数の観光客を誘引することにより、宿泊客の増加並びに地域経済の活性化を図るため、多様なエンターテインメントコンテンツを活用した観光プロモーション事業を実施しました。



### 消防装備購入事業 決算額 100,052千円

火災・救急・救助等に迅速かつ的確に対応し、消防力の充実・強化を図るため、高規格救急自動車、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車、資機材運搬車や消防資機材を購入しました。



# 平成25年度に実施した主な事業

橋りょう長寿命化事業 決算額 98,286 千円

橋りょうを保全し、通行の安全を確保するため、板山橋、中島橋、天満橋、桑名橋の補修のための設計、月見橋、板山橋、祇園橋、石田橋の補修工事を実施しました。



(写真は祇園橋)

BEPPUわくわく建設券発行事業 決算額 80,980千円

地域経済の活性化や中小企業の振興を図るとともに、住宅環境の改善を促進するためプレミアム付き建設券発行事業を実施しました。

A colorful promotional poster for the BEPPU Wakuwaku Construction Voucher. The title 'BEPPU わくわく建設券' is prominently displayed in large, bold letters. A pink banner at the top right says '6月14日から購入申込スタート' (Purchase application starts from June 14). Below the title, it says '自宅のリフォーム・新築をお考えの皆様 今年最大20万円、お得になります!' (For those considering home renovation or new construction, this year's maximum 200,000 yen is a great benefit!). The poster lists '購入対象者 (申込者)' (Purchase eligible persons (applicants)) as residents of Beppu City, and 'BEPPUわくわく建設券の対象となる工事' (Construction work eligible for the BEPPU Wakuwaku Construction Voucher) including kitchen, bathroom, roof, exterior, painting, electrical, garage, carport, landscaping, asphalt, hot spring, and solar panel installation. It also states the price is 50,000 yen (55,000 yen equivalent) and the total number of vouchers is 20,000.

## 平成25年度に実施した主な事業

民間保育所施設整備費助成事業 決算額 79,931 千円

民間保育所の施設改善を促進し、児童の保育環境の充実を図るため、老朽化した民間保育所の施設整備費に対して助成を行いました。

[平成25年度 別府隣保館保育園]



不老泉建替事業 決算額 69,209千円

不老泉建て替えに向け、実施設計、解体工事、建設工事の一部を実施しました。（平成26年8月にオープンしました。）



(写真は建て替え前の不老泉)

## 平成25年度に実施した主な事業

### 放課後児童クラブ施設整備事業 決算額 64,812 千円

昼間保護者のいない小学校低学年児童を中心に適切な遊び及び生活の場を確保するため、放課後児童クラブ施設を整備しました。

平成25年度

- ・ 南子育て仲よしクラブ (2クラブ)
- ・ 上人放課後児童クラブ (2クラブ)

(写真は上人放課後児童クラブ)



### 中央公民館・市民会館リニューアル事業 決算額 49,022千円

中央公民館・市民会館の安全性を確保するとともに建物の用途に応じた保存活用を行うため、耐震補強を含めたリニューアル工事の実施設計を実施しました。

(完成イメージ図)



## 平成25年度に実施した主な事業

青山小学校校舎等建設事業 決算額 38,129 千円

青山小学校と西小学校の統合に向けて、新校舎を建設するための実施設計などを実施しました。



(完成イメージ図)

まちなか交流館建設事業 決算額 20,514千円

中心市街地における活性化を図るため観光客への情報発信や交流の拠点となる施設を建設しました。



## 平成25年度に実施した主な事業

街路灯LED化事業 決算額 20,292 千円

地球環境にやさしいまちを目指し、二酸化炭素削減など環境負荷の低減を図るため、省エネ性能が高いLED照明灯を導入しました。

平成26年度までに、すべての蛍光灯型の街路灯や防犯灯をLED照明化する予定です。



亀川駅西口駅前広場整備事業 決算額 18,795千円

亀川駅西口駅前広場整備のため、建物調査や測量設計等を実施しました。



(写真は現在の状況)

## 平成25年度に実施した主な事業

亀陽泉会館周辺整備事業 決算額 11,403 千円

亀陽泉会館周辺の道路やポケットパークなどの整備のため、建物調査や基本計画の策定等を実施しました。

(写真は現在の状況)



亀陽泉建替事業 決算額 5,439千円

亀陽泉建て替えに向け、物件調査等を実施しました。

(写真は現在の状況)



## 平成25年度に実施した主な事業

山田関の江線外道路整備事業 決算額 7,639 千円

山田関の江線・亀川駅西線の整備のため、予備設計を行いました。



## その他主な支出

生活保護費	決算額 7,090,526千円	介護保険事業特別会計繰出金	決算額 1,504,671千円
自立支援給付費	決算額 2,952,340千円	後期高齢者医療療養給付費負担金	決算額 1,438,661千円
保育所（私立）運営費負担金	決算額 1,949,063千円	児童扶養手当	決算額 717,839千円
児童手当	決算額 1,694,910千円	国民健康保険事業特別会計繰出金	決算額 673,867千円